

施策評価調書(22年度実績)

政策体系	施策名	観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	施策コード	IV-1-(1)
	政策名	地域と世界をつなぎふれあい楽しむツーリズムの推進	主管部局名	企画振興部
			担当課室名	観光・地域振興局
施策概要	九州新幹線の全線開業や高速道路の低料金化など、観光を取り巻く環境が変化する中、観光客のニーズに応えた受入れ体制の整備や誘客対策の充実が求められている。地域づくりと観光とが一体となった「ツーリズム」をより一層推進する上で、地域資源を「磨いて」観光商品化を図り、観光客の受入れ体制を「つくり」、観光地を「繋いで」広域観光を推進し、そして国内外から観光客を「いざなう」取組が求められている。			

【評価指標】

主な取組		指標		基準値		22年度			27年度
				年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値
①	民間による自主的・主体的な地域活動の促進	i	宿泊者数(延人泊・指数)	18	100	102	96	94.1	104
		ii	外国人宿泊者数(延人泊・指数)	18	100	150	128	85.3	300
②	産業・文化とツーリズムの融合の推進	iii	グリーンツーリズムなどのインストラクター数	16	125	180	391	217.2	210
③	国内外に向けたツーリズム情報の発信	i	宿泊者数(延人泊・指数)	18	100	102	96	94.1	104
		ii	外国人宿泊者数(延人泊・指数)	18	100	150	128	85.3	300
		iv	観光ホームページアクセス件数(千件)	-	-	1,800	1,864	103.6	-
④	みんなが楽しめるツーリズム基盤の整備推進	i	宿泊者数(延人泊・指数)	18	100	102	96	94.1	104
		ii	外国人宿泊者数(延人泊・指数)	18	100	150	128	85.3	300
						平均達成率(%)	125.1		

【業績評価】

No.	業 績 評 価		平均評価
i	概ね達成	21年は国際的な景気後退や新型インフルエンザ等により落ち込んだものの、22年には外国人宿泊者が過去最高となるなど回復を見せた。	
ii	達成不十分	尖閣諸島問題による中国人観光客の伸び悩みがあったものの、韓国人観光客数が堅調に推移したため、過去最高の宿泊者数となった(36万人)。	
iii	達成	県内各地域の農山漁村ツーリズムの活動を支援し、インストラクターの育成に努めた結果、当初目標値(H22=180、H27=210)を達成した。	
iv	達成	検索サイトの検索結果で上位に現れるよう対策を行った結果、観光ホームページアクセス件数の目標値を達成した。	達成

【施策目的を達成するための主な事業(22年度)】

指標 No.	事業名	事務事業評価		事業コスト
		総合評価	掲載頁	
i ii iv	1 九州観光戦略共同事業	現状維持	-	32,601
	2 都市圏観光誘客促進事業	見直し(23年度)効率化の推進	15	27,668
	3 滞在でのんびり・広域でよければ観光推進事業	見直し(23年度)効率化の推進	14	30,034
	4 観光情報収集・発信事業	現状維持	-	47,954
	5 海外観光客誘致対策事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	16	21,468
	6 観光客にやさしい案内標識整備事業	現状維持	-	15,783
	7 「名勝耶馬溪」景観再生事業 (おおいた景観創生事業)	見直し(24年度)事業内容の変更	18	10,520
	8 おおいたらしさ「景観」創出事業 (おおいた景観創生事業)	終了(23年度末)	19	6,023
	9 大分総合プロモーション2011戦略事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	-	18,084
iii	1 農山漁村ツーリズム推進事業	現状維持	-	12,129
	2 おおいたツーリズム大学実施事業	見直し(23年度)事業内容の拡充	13	14,075

【構成事業の妥当性】

・インターネット等の活用やマスメディアとの連携強化により、大分県の魅力情報発信を効果的に行う必要がある。
 ・県外からの観光客の半数を占める福岡都市圏に対して、効果的な情報発信や誘客を行う必要がある。
 ・九州観光推進機構と共同して、九州が一体となった戦略の下、国内外への情報発信や誘客を行う必要がある。
 ・都市と農山漁村の交流支援を行い、グリーンツーリズムやブルーツーリズムによる地域づくりを行う必要がある。

【施策主管部局評価】

評価	ア 拡充	イ 現状維持	ウ 見直し
理由			
	大分県では、観光産業がサービス産業、交通・運輸業、商業、農林水産業、IT産業、文化産業などとの複合・連携型の産業であり、地域活性化に大きな役割を果たすという認識の下、観光と地域づくりを一体的にとらえたツーリズムを推進していることから、さらなる効率化を進めつつ、引き続き継続する必要がある。		

【施策目的を達成するための主な事業(23年度)】

指標 No.	事業名	取組内容	事業コスト
i ii iv	1 九州観光戦略共同事業	九州観光推進機構を通じた7県合同の観光戦略推進	35,372
	2 都市圏観光誘客促進事業	県外事務所を活用した大分観光の情報発信・誘客活動(含:竹ものがたりin福岡)	39,478
	3 関西圏域観光誘客促進事業	九州新幹線全線開業を契機に関西都市圏からの誘客を促進	73,000
	4 観光情報収集・発信事業	情報誌の発行、HPの充実、マスメディアの活用、マップの作成	69,358
	5 海外観光客誘致対策事業	外国語ホームページ強化、観光セールス及び観光関係者の招聘等	33,846
	6 観光客にやさしい案内標識整備事業	観光案内標識等の整備による観光客の利便性の向上	15,044
	7 景勝地再生事業 (おおいた景観創生事業)	奇岩・秀峰を覆う雑木等を伐採し、名勝耶馬溪の景観を回復	7,200
	8 おおいたらしさ「景観」創出事業 (おおいた景観創生事業)	講座やフォーラム、まちあるきを開催し、景観まちづくりの地域リーダーを育成	5,618
	9 プロモーションおおいた福岡戦略事業	福岡都市圏向けの観光客の誘客や県産品のPR	21,378
iii	1 農山漁村ツーリズム推進事業	農林漁業体験民宿開業促進と受け入れ態勢の整備	17,692
	2 おおいたツーリズム大学実施事業	ツーリズム関係者の課題を解決し、地域のリーダーとしての人材を育成	15,329

【今後の施策展開の方向性】

地域づくりと観光とが一体となった「ツーリズム」をより一層推進する上で、地域資源を「磨いて」観光商品化を図り、観光客の受け入れ体制を「つくり」、観光地を「繋いで」広域観光を推進し、そして国内外から観光客を「いざなう」とともに、こうした活動を通じて人材を育成する。